

入学までの諸準備について

お子様が、1日も早く学校生活に慣れ、充実した生活が送れますよう、入学の日に向けてご家庭での準備をよろしくお願ひします。

1 入学までに

(1) 基本的な事柄が身に付くよう、心がけてください。

- ・人の話をさえぎらず、最後まで聞くことができる。
- ・座って、話を聞くことができる。
- ・鼻をかむことができる。
- ・衣服の脱ぎ着（ボタンの着脱）ができる。
- ・排便の用が足せ、後始末ができる。
- ・ひもを結んだり、ほどいたりすることができる。
- ・傘（おりたたみ傘）の使い方と雨合羽のしまい方が分かり、自分でしまうことができる。
- ・名札（安全ピン）をつけることができる。
- ・挨拶ができる。
- ・自分の名前をはっきり言うことができる。
- ・「はい」「いいえ」「トイレに行きたい」「おなかが痛い」など、困ったときに担任等にすぐに言うことができる。
- ・自分の名前を読んだり、「ひらがな」で書いたりできる。

入学に対する期待や喜びをもつように励まし、不安なく入学を迎えられるようご指導ください。

(2) 登下校の道順を覚えるようご指導ください。

- ・通学路を親子で一緒に歩き、右側通行、信号を守ること、車の直前、直後の横断は危険なことなど、確認してください。
- ・一緒に登下校する友達を決めておきましょう。入学当初は、下校に慣れるまでの間、5つのコース（内1つは学童）に分かれ集団で下校します。

- ・交通安全のワッペンに、コースの色のシールを貼ります。学童に行く場合は、通学路のコースと別に、オレンジのシールを貼ります。



2. 保護者の方に配慮していただきたいこと

- (1) 現在治療中の疾患、就学時健康診断で発見された疾患（内科、外科、目、耳、鼻、歯等）のある人は、入学までに治療を済ませておいてください。
- (2) 規則正しい生活
 - ・起床、就寝時刻を決めて習慣化できるようにしてください。
 - ・毎朝登校前には、お子様の顔色を見るなどして健康観察をお願いします。発熱があり、体調が悪いときには、受診してください。
- (3) 持ち物は、全てにひらがなで記名をお願いします。
- (4) 食事の時間とマナー
 - ・給食は、一定の時間内で食べ終わるように、ご家庭で練習しておいてください。（給食を食べる時間は約20～25分です。）
- (5) 学校での服装は学習に差し支えの無いものでお願いします。（動きやすい服装、はきやすい靴、長い髪の毛は結ぶ、ポーチを使用する場合は腰につけるタイプの物 など。）

3. 準備をする物

(1) 各家庭で用意していただく物

・ランドセル等	学習に必要な物が入る形
・筆箱	無地でマグネットタイプの筆箱、※缶ペンは不可
・鉛筆	無地の2B5本と赤鉛筆1本。飾りがなく転がりにくいもの。キャップ不要
・名前ペン	1本(油性)
・消しゴム	白色で香りのないもの。消しやすいもの。
・下じき	無地のもの。
・ハサミ	キャップ付きで先の丸いもの。
・粘土板	就学前に使っていたものでも可。
・セロテープ	お子様が扱いやすいもの。
・雑巾 2枚	1枚だけ記名。もう1枚は無記名。
・洗濯ばさみ 2個	椅子の下に雑巾をかける為、ゴムひもやループを付けてください。※10ページ図5参照
・上ばき	体育館ばきと併用。滑りにくいもの。
・上ばき袋	持ち手があまり太くないもの。
・手さげ袋	2つ(30cm×40cmぐらい、持ち手は細めに) 1つは図書の本用、1つは持ち帰り用などです。
・体育着	白半袖、紺クォーターパンツ、つば付き紅白帽子。 ※8ページ図1参照
・体育着袋	※9ページ図2参照
・給食用品	※17ページ参照
・雨具、傘	おりたたみ傘を教室に保管します。
・防災頭巾	不燃性の素材のものとしてそれを入れる布製カバー ※10ページ図4参照

※学用品：シンプルな物を長く使えるように心がけてください。

※すべてにひらがなで記名をお願いします。

(2) 学校等で用意するもの

【国から無償配布】教科書

【お祝い品】道具箱、油粘土、粘土ケース、防犯ブザー、連絡帳

【交通安全協会より】黄色い帽子、ランドセルカバー

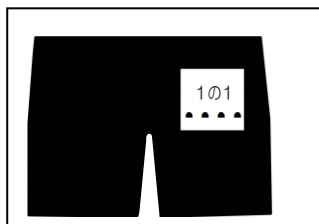
【一括購入品（入学後引き落とし）】

- ・ノート（国語・算数・自由帳）、連絡帳を入れるビニールケース、のり、クレヨン、色鉛筆、さんすうブロック
- ・鍵盤ハーモニカ、絵の具セット、水泳道具、縄跳び等は入学後用意していただく予定です。

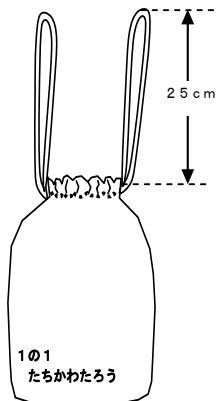
4. その他

- ・1、2年生は子どもだけで自転車に乗ることはできません。（広場、家庭の庭等で乗る場合は除く）
- ・立川警察の指導もあり、市内学校では、3年生での自転車免許講習（自転車の安全な乗り方の学習）後、4年生から一般の道路で乗ることを推奨しています。

※図1 体育着記名例



※図2 体育着袋



- ・口をしぼった状態でフックにかけます。
床に引きずらないひもの長さでお願いします。

※図3 上履き

<記名箇所①>

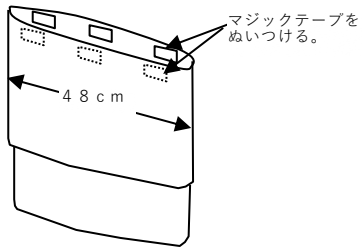


<記名箇所②>

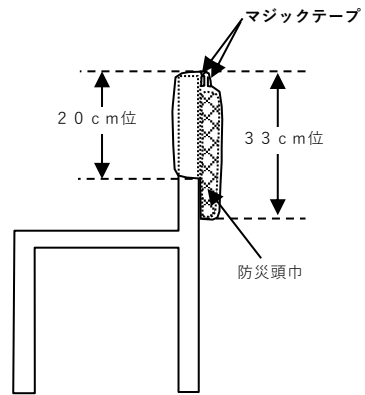


※図4 防災頭巾カバー

前から見ると



横から見ると



※図5 洗濯ばさみ

